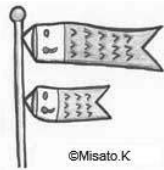


資料5 湘南ひらつかキャンパス教職課程通信『Dreams』



湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

Dreams Vol.6

2012年5月28日発行



☆☆ごあいさつ☆☆

こんにちは。そして新入生の皆さん、初めまして。湘南ひらつかキャンパス教職課程通信「Dreams」の編集を担当している情報科学専攻、博士課程前期1年の刈部真里です。

改めて、ご入学、おめでとうございます。学校生活にはもう慣れましたか？ゴールデンウィークが終わり、ちょうどだらけ気味になる時期ですが、皆さん頑張ってください！

この教職課程通信は季節に合わせた様々なテーマで情報を載せており、皆さんの情報交換、意見交換の場として有意義になるよう目指します。

さて、この通信を見ている新入生の方は、おそらく教員を目指している学生だと思います。ここ、湘南ひらつかキャンパスの教職課程は、模擬授業を多く行うことでより実践に近い授業が行えます。また、教職課程の講義を受けて行くことで教員採用試験に向けての力がつくようになっている、とてもいい教職課程です。この湘南ひらつかキャンパスと一緒に教員を目指すことをとても楽しみにしていますので、ぜひ継続して頑張ってください！

Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。

2011年度に引き続き、2012年度も5月7日から平塚市立土屋小学校、みずほ小学校、土沢中学校でボランティアが始まりました。今期は、全員が「学校ボランティア演習Ⅰ」を履修し、土屋小学校18名、みずほ小学校2名、羽沢小学校1名、土沢中学校27名という人数になりました。中には、小学校と中学校の2校でボランティア活動をしている学生もいます。今期は7月までの活動となります。皆さん頑張ってください。

また、2月、3月の春休み期間にボランティア活動を行った学生の皆さん、お疲れ様でした。

おたよりボックス

新コーナー「おたよりボックス」です。

このコーナーでは、神大を卒業して教師をしている先輩達だからこそ聞ける話を紹介したり、皆さんが教員となる上で知って欲しいと思ったことなど、頼りになる便りを紹介します。

さて、今回は皆さんが今後、教員となった時役に立つであろう本を1冊紹介したいと思います。紹介する本は佐藤雅彰・佐藤学編著『公立中学校の挑戦 ―授業を変える、学校が変わる―』（ぎょうせい、2003）です。

中学校は、思春期に入る年代いうこともあり、複雑な年齢の子ども達が通っています。そんな子ども達が抱えている、勉強に対する苦悩（「学びたい」という気持ちを持ちながらも、勉強しない、今の環境を変えられない）を、教師はどうやって解決していくか。それには、教師個人の努力ももちろん必要だと思いますが、学校全体が、もっと広げて保護者や地域の住民が、協力していかなければならないのだと思います。

この本は、教育現場の問題点を指摘し、子ども達が学ぶための環境づくりの努力を、学校全体、教師個人、2つの視点から、富士市立岳陽中学校の実践を元に説明してくれています。具体的にどのような行事、授業を行っているのかも非常によく示されており、参考になるだけでなく、学校は教師、地域住民、保護者、全てが協力して作り上げていくものだ、

と改めて実感させられた1冊です。興味のある方はぜひ読んでみてください。

Dreams 談話室

「Dreams 談話室」は、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたいこと!」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に企画を立てて、学生の声を紹介します。

昨年度までは、教育実習や教員採用試験についてなど、先輩から後輩へ伝えられることのテーマが多かったように思います。なので、今年は先輩も後輩も関係なく意見を交換出来るテーマもありこんでいきたいと思っています。

では、次回のテーマを発表します。

Vol. 7のテーマ：私の理想の教師像

教職を履修したからにはきっと、皆さんそれぞれ、目指す教師像があると思います。今回は、そんな理想の教師像を、学生の皆さんに聞いてみたいと思います。

ちょっとブレイク

★面接問題を考えてみよう。

「あなたが教員に向いているところは、どこですか?」

Vol.5の解答…1. ①しぶる・どこおる・じゅうたい ②さす・つむ・してき 2. ①B ②D ③A ④C ⑤D ⑥B ⑦A ⑧C 3. ①しぐれ ②よせ ③だし ④なごり

編集後記

いかがでしたか?

今月は年度のスタートということで説明ばかりで、内容も薄かったように思いますが、次回からどんどん中身の濃い通信にしていきたいと思っています。

また、おたよりボックスで紹介させていただいた本は、湘南ひらつかキャンパスの図書館においてありますので、興味がありましたら是非借りてみてください。

それでは、ここまで読んで頂き、ありがとうございました!

編集・カット担当 刈部真里(情報科学専攻・1年)

Special Thanks! (お世話になった方々)

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

連絡先

神奈川大学

湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室

電話: 0463-59-4111

FAX: 0463-59-5736

E-mail: kyoushoku-sho@kanagawa-u.ac.jp



湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

Dreams Vol.7

2012年7月31日発行



★★ごあいさつ★★

こんにちは。梅雨明けが近づいて、暑い日が徐々に多くなってきています。こういう寒暖の差が激しい時の方が、熱中症になりやすいそうなので、水分補給をこまめにするなど、しっかりと対策してください。

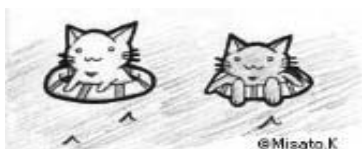
今回は「Dreams 談話室」コーナーも再開し、より一層内容の濃い通信になっていると思いますので、最後までおつきあいください。



Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。

5月から始まった前期学校ボランティアも、無事終了しました。小学校の活動内容は授業のお手伝いや、子ども達と一緒に給食を食べる、掃除時間のお手伝いをする、休み時間に遊ぶなどの活動を中心に、校務さんのお手伝いなどの活動も行いました。また、5月末から6月初め頃にかけて運動会も行われ、学生ボランティアは大活躍でした。中学校の活動内容としては授業補助と、ホームページ作成と維持の補助を行いました。小学校、中学校でそれぞれボランティアを体験して、学んだことがあると思います。それを今後、教員になるまでの自分磨きに活かして下さい。ボランティアに参加した皆さん、お疲れ様でした。



おたよりボックス

新コーナー「おたよりボックス」です。

このコーナーでは、神大を卒業して教師をしている先輩達だからこそ聞ける話を紹介したり、皆さんが教員となる上で知って欲しいと思ったことなど、頼りになる便りを紹介します。

今回は、皆さんが必ず受ける教員採用試験というのはどんなものなのか、ということについて説明していきたいと思います。

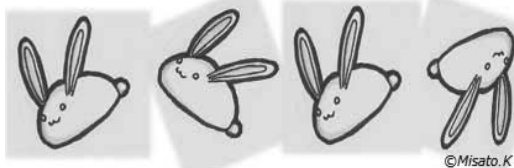
教員採用試験は、各都道府県または政令指定都市単位で行われる次年度の公立学校の教員を選考する試験です。私立学校については、各都道府県によって異なりますが、私立独自の採用試験を行っています。

公立学校の教員採用試験は、7月に行われる1次試験を合格し、更に2次試験も合格して、初めて教員採用試験合格といえます。1次試験は、主に教職教養・一般教養試験と専門教養試験、論文があります。神奈川県では、試験全てをマークシート方式で行っていますが、都道府県・政令指定都市によっては記述式となっていたりします。また、都道府県・

政令指定都市によっては1次試験から面接試験や集団討論試験を行う場合もあります。受けたい都道府県・政令指定都市がどんな試験を行うか、しっかり調べた上で勉強するといと思います。

2次試験では、主に面接試験や集団討論を行います。都道府県・政令指定都市によっては模擬授業や場面指導などを行う場所もあります。神奈川県では、1次試験で書いた論文文、面接、模擬授業と集団討論で採点されます。面接、集団討論、模擬授業については、3年次後期から4年次前期まで行っている「教員採用試験2次対策講座」を利用して力をつけておくことをお勧めします。

最後に、各都道府県・政令指定都市の試験概要を調べておくといい、とお話ししましたが、調べるには各都道府県のホームページや、資格教育課程支援室に資料がありますので、利用して下さい。



Dreams 談話室

「Dreams 談話室」は、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたいこと!」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に企画を立てて、学生の声を紹介します。

今回のテーマ：私の理想の教師像

教職を履修したからにはきっと、皆さんそれぞれ、目指す教師像があると思います。今回は、「理想の教師像」について、学校ボランティアに参加している学生の皆さんに聞いてみました。

☆ ★ ☆ ★ ☆

「自分が尊敬していた先生みたいになりたい」

私が教師になりたいと思ったきっかけは、高校1年生の時の数学の先生にアコがれていたからです。それがきっかけで数学に対する気持ち、性格、進路までもが変わったと思います。1人の生徒の人生に深く関わられるやりがいのある職業と同時に、責任の重い仕事だとも思います。自分がそう体験したように、自分も何かきっかけを与えられる存在になれるといいと考えています。

(情報科学科3年 中島峻恵子)

「生徒に好かれる先生」

生徒と先生の壁はある程度取り除き、生徒の成長や進路に対して親身に考え、生徒からも気兼ねなく相談をしてもらえるような先生であり、また生徒から尊敬もされ、生徒の道しるべとなれるような教師になりたい。

(化学科3年 小嶋啓喬)

「みんなと仲の良い、生徒のような先生」

僕の中学3年生の時の担任の先生がこのような先生でした。普段はみんなと一緒に遊んだり、雑談をしたりと同級生のような人でした。しかし、授業や行事などでは区別ができていて、反抗的な生徒もその先生が注意すると、素直に言うことを聞いてくれました。生徒と本当に仲が良かったので、その先生に反抗する生徒は全くなかったです。

やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ。しっかりとメリハリのある、みんなに親しまれるような先生になりたいです。

(化学科3年 柴崎潤平)

「生徒1人ひとりと向き合える教師になりたい」

生徒1人ひとりと向き合うことでクラスもまとめられると思います。1つのことをみんなで最後までやりぬけるクラスにしたいです。

(生物科学科3年 小椋光)

「生徒と深い関係を築ける教師」

単に一方的に授業を教えるだけの立場ではなく、わからないことや悩みごとがあれば気軽に質問、相談に来られるような、生徒にとって接しやすい教師が私の目標です。生徒とより深い関係を築き、より多くの不安を解消してあげられるような、そんな立場に立てよう生徒個人との関わりを大切にできる教師を目指して努力したいです。

(化学科3年 夢沼礼敬)

☆ ★ ☆ ★ ☆

どうでしたか？

皆さんが目指している教師像にも色々ありますが、教わった先生のようにになりたい、といった意見もありましたね。皆さんも、教え子が「先生のようにになりたい」と言ってくれるような素敵な教師になれるよう、頑張らしましょう。

では、今回のテーマを発表します。

Vol. 8 テーマ：教員採用試験

いよいよ7月から、各都道府県で教員採用試験が始まります。Vol. 8では教員採用試験の2次試験までを終えた学生から話を聞き、今後、採用試験を受ける学生にとって役に立つ情報を集めたいと思います。



8月・9月の予定

8月

■教員採用試験2次試験(8月～)

■卒業生の会(8月18日)

9月

■教員採用試験対策秋季セミナー(9月18～20日)

■中学校ボランティア説明会(9月24日 12:40～)

■小学校ボランティア説明会(9月25日 12:40～)

ちょっとブレイク

★教職教養問題にチャレンジしてみよう。

次の教授理論を主張した「彼」とは誰か、ア～オから選びなさい。

彼は、すべての精神過程は感覚から生ずるとする感覚論を前提に、自然の事物を正確に観察することが真の知識を得る唯一の方法であると考えた。学習も言葉からではなく、事物の観察→思考→言葉による表現、という過程をたどるべきだとした。

ア ルソー

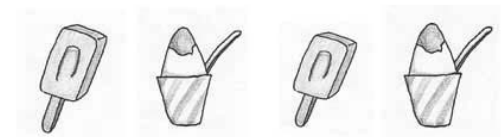
イ パーカースト

ウ ケルシェンシュタイナー

エ コメニウス

オ ブルーム

答えは「Dreams Vol. 8」で。



編集後記

いかがでしたか？

5月から6月にかけて、4年次生を中心に教育実習が行われました。3週間の間ですが、学校で実際に体験してきたことは、とても良い勉強になったと思います。本来ならば「Dreams 談話室」で取り上げ、他の学年の皆さんにも体験したことを共有出来たら良いのですが、昨年と同じでは面白くないと思ったために、今回は理想の教師像、というテーマにさせていただきました。

また、今月初めから、教員採用試験の1次試験が始まりました。受験された皆さんは、今まで勉強してきた自分の力を十分に発揮出来たと思います。教員採用試験については、2次試験も終わった後、まとめて「Dreams 談話室」のテーマとして取り上げたいと思いますので、9月までお待ちください。

それでは、ここまで読んで頂き、ありがとうございました！

編集・カット担当 刈部真里(情報科学専攻・M1)

Special Thanks! (お世話になった方々)

「学校ボランティア演習Ⅰ」履修者…「Dreams 談話室」の掲載原稿の提供

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

連絡先

神奈川大学

湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室

電話：0463-59-4111

FAX：0463-59-5736

E-mail：kyoushoku-sho@kanagawa-u.ac.jp



©Misato.K

湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

Dreams Vol.8

2012年12月17日発行



©Misato.K

★ごあいさつ★

こんにちは。徐々に冬が近づいて、寒さが厳しくなってきましたが、元気にお過ごしですか？冬と同時に、風邪やインフルエンザの季節も近づいてきていますので、体調管理には気を付けて下さい。

今月の「Dreams」では、8月に行われた「卒業生の会」についての報告や、教員採用試験の感想などを掲載しています。教員採用試験については、今後受験する学生には必見だと思いますので、ぜひ、最後までお付き合い下さい。

Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。

10月2週から、平塚市立みずほ小学校、土屋小学校、土沢中学校の3校でボランティアが開始されました。主な活動内容として、小学校では学級での学習活動の補助や、先生方、校務さんの作業の補助などを行います。また、昼食は子ども達と一緒に給食を食べ、お昼休みになると一緒に遊んだりもしています。また、みずほ小学校では稲刈りや餅つき大会の手伝いもあります。小学校18名、中学校24名の学生が楽しくボランティア活動に参加しています。

土沢中学校では、英語、理科の授業の補助と、ホームページ作成と維持の補助を行います。実際に自分が動めるかもしれない中学校で、生徒の様子を見たり、実際の授業を見て参考にさせてもらえたりと、小学校とはまた違う面で、勉強になることがあります。

もう少しで後期の学校ボランティアは終了します。参加された皆さん、お疲れ様です。学校ボランティアを通して考えたことが、「学校ボランティア演習Ⅰ」のレポートからうかがえます。参考としてレポートを掲載します。

先生から生徒へ、生徒から私へ

情報科学科 2年 水戸綾子

学校名 土沢中学校

教室に入るとき懐かしさを感じた。後ろに貼られている自己紹介の紙、10分休みの慌しい行動。規則の厳しさに違うところがあるが、生徒一人ひとりの行動がいかにも「中学生」らしく、その集団を見るのは新鮮な気がする。

活動内容は、数学…丸付け、解説、机間指導、英語…机間指導、理科…机間指導、実験準備、といったものだった。英語と理科に関してほとんど私は必要なかったように思える。よって先生の授業を聞くことに専念できた。数学に関しては時には回りながら丸付けをする。あるいはわからない人に教えることもした。数学に関してはもちろん授業の組み立て方、教え方などを学習することができた。どの先生も中学生にとって魅力的な先生だと感じる。

まず数学の先生だ。数学の先生は駄洒落や面白いものが好きなのか、よく授業に取り入れていた。生徒にとっての馴染みは良く、皆一心に黒板を見ていたように思える。また数学を教えるときもわかりにくい箇所を説明した後、覚えやすいように数学と関係ないような発想から覚え方を導入する、あるいはこれもまた駄洒落を使用するなどして覚えさせて

©Misato.K



いた。しかし演習時間に入ると解き終わった生徒が一部ざわざわと話し始めてしまうのが難点であった。そこに関して先生は黒板に答えを書くように指名することもあったが、問題量が多く明らかに差ができてしまう場合、ワークに進むことなく話してしまう生徒がいた。また、それは解き終わっていない生徒以外にワークを進めている生徒にも迷惑がかかっていたように思える。

次に、英語の先生である。数学の先生から一変して厳しめな先生である。的確に英語の基礎（1年生であったため）を教え込んでおりわかりやすいと感じた。大文字、ピリオド等の生徒が忘れがちな箇所を強く指摘し、今後軽いケアレスミスで悩まされないように考慮していた。また、生徒との英語のやり取りも非常に自然的で、様々な内容の英語を生徒に浴びせかけるように話していて非常に耳によいと思った。どういった理由かはわからないが英語が嫌いという生徒もいた。特に英語が苦手そうなわけでもなく、私が見回ったときもほぼ全て正解していた。どうしてそうだったかわからないため、今後気を付けて見たい。

最後に理科の先生だ。非常に多くの豆知識を備えていた。生徒が興味を持つような内容を次から次へと出していき、中身が頭に入るような展開であった。私自身も生徒と同様に興味を持った部分が何点もあり、授業後、先生に質問したりもした。また、ノートがわかりやすく見やすいもので復習するのにやさそうな気がした。どうせならば、豆知識に関しても少しずつノートの端に書いてもいいのではないだろうかと思ったが、もしかしら必要以上の内容をノートには書かないほうが良いのかもしれないと思った。

自分ならばどうするだろう、どうやって生徒に伝えるだろう。そんなことを考えながら授業を見ていると他にも先生の些細な技巧が見えた。考え続けることで、今のボランティアとしての自分がするべき行動を考えることができた。数学の先生からはユーモラスな数学的センス、英語の先生からは強さを持った声を伝える力、理科の先生から多種多様な知識を学び、私は私の思う最善の生徒への伝え方を日々研究していきたいと思う。

おたよりボックス

新コーナー「おたよりボックス」です。

このコーナーでは、神大を卒業して教師をしている先輩達だからこそ聞ける話を紹介したり、皆さんが教員となる上で知って欲しいと思ったことなど、頼りになる便りを紹介します。

今回は8月に行われた卒業生の会についてお話ししたいと思います。

卒業生の会とは、この湘南ひらつかキャンパスの教職課程を履修し、卒業していった先輩方、そして現役で教員を目指している学生(4年次生)が集まり、情報を交換し、今後の教員生活に役立てていこう、とする会です。

卒業生の会は午前の部と午後の部に分かれています。午前の部では、数名のグループに分かれ、それぞれ意見を交換します。教員となって大変だったことや、楽しかったことなど、経験談を交えて話します。午後の部では、全員揃って各グループがどのような話をしたのかを発表し、そこから質問をしたり、答えたりと会話をしていききました。

教育実習で見ただけではわからないようなことを沢山聞けることが出来ました。この卒業生の会は今後とも続けていきたいと思っていますの

で、これから4年生になる学生の皆さんは、機会が訪れたら是非参加してみして下さい。



Dreams 談話室

「Dreams 談話室」は、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたいこと!」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に企画を立てて、学生の声を紹介します。

今回のテーマ：教員採用試験

7月から、各都道府県で教員採用試験が始まりました。今回は教員採用試験の2次試験までを終えた学生から話を聞き、今後、採用試験を受ける学生にとって役に立つ情報を集めたいと思います。

☆ ★ ☆ ★ ☆

自分の教員採用試験を振り返ってみて、私は全体的にリラックスして受けることができていました。そしてその理由を自分なりに考えた結果、一次試験と二次試験のどちらの対策も充分に行って挑んだからではないかという結論に至りました。一次試験ではほとんど毎日と言っていいほど資格課程支援室にこもり、教職教養や専門教養の対策を行いました。二次試験では試験の一週間前から毎日のように柳堀先生に面接や模擬授業を見てもらい、採用試験では満足のいくまで何度も改良を加えてから試験に挑みました。その結果、今回の採用試験では合格という判定を頂くことが出来ました。

私から皆さんに伝えられることはとても少ないのですが、試験対策は自分の満足のいくまで行ってから挑んでほしいと思っています。また、できる限りボランティアなどに参加し、今のうちに経験を増やしておくことも大切だと思います。あとは、「教師になりたい」という気持ちの強さがあれば、合格への道は拓けると思います。

工藤若菜（神奈川県・高校生物）

☆ ★ ☆ ★ ☆

どうでしたか？

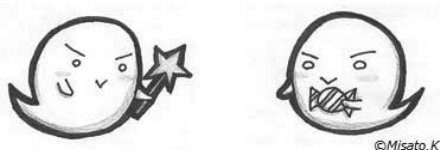
前回のおたよりボックスの内容と繋がっており、教員採用試験について理解が深まったのではないかと思います。

では、次回のテーマを発表します。

Vol. 9 テーマ：先輩教師からの熱いメッセージ

10月27・28日に行われた平塚祭で、この湘南ひらつかキャンパスから教職の道へ進んだ先輩方の講演会「集まれ、教師の卵たち! 2012（第4回）—先輩教師からのあついメッセージ—」が行われました。「教職論」の履修者だけでなく、たくさんの学生の皆さんに、先輩の経験談を聞いて

て欲しいと思っています。しかし、平塚祭の間で行われるとあって、実行委員などで時間が取れず、行けない学生もいました。なので、Vol. 9では、講演会の概要、どんなメッセージを先輩方が送ったのか、紹介していきます。



ちょっとブレイク

★一般教養問題にチャレンジしてみよう

次の表現で正しいものをア～オから選びなさい。

ア 功を奏する イ 的を得る ウ 最大漏らさず
エ 苦渋を嘗める オ 肝に命じる

答えは「Dreams Vol. 8」で。

Vol. 7 の答え…エ



編集後記

いかがでしたか？

卒業生の会に、私も参加させて頂きました。学生の視点からでは得られないものを、現役の先生から聞くことが出来て、とても勉強になりました。今後とも、この会が継続出来ればいいと思います。

現役の先生からお話を聞く、ということでは、平塚祭にて講演会も予定されていました。こういった場面を活用して、教師という職についての理解を深めて欲しいと思います。

それでは、ここまで読んで頂き、ありがとうございました！

編集・カット担当 刈部真里（情報科学専攻・M1）

Special Thanks!（お世話になった方々）

「学校ボランティア演習Ⅰ」履修者…「Dreams 談話室」の掲載原稿の提供

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

連絡先

神奈川大学

湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室

電話：0463-59-4111

FAX：0463-59-5736

E-mail：kyoushoku-sho@kanagawa-u.ac.jp



湘南ひらつかキャンパス 教職課程通信

Dreams Vol.9

2013年1月21日発行



★★ごあいさつ★★

こんにちは。もうすぐ今期も終わりになります。この時期は、ノロウイルスやインフルエンザなど、辛い病気が流行します。今月末は学期末試験も開始されます。試験当日に休んでしまうことがないよう、体調管理には十分に気を付けて下さい。

今月の「Dreams」では、10月の平塚祭に行われた講演会の内容や、教員採用試験の感想など、今後教員になりたいと思っている皆さんにとって、とても興味深い内容になっていると思います。ぜひ、最後までお付き合い下さい。

Enjoy School Volunteer

「Enjoy School Volunteer」のコーナーは、学校ボランティアの活動報告と、学生の声を紹介します。

後期学校ボランティアは、無事終了しました。参加された皆さん、お疲れ様です。小学校の活動内容は授業のお手伝いや、子ども達と一緒に給食を食べる、掃除時間のお手伝いをする、休み時間に遊ぶなどの活動を中心に、校務さんのお手伝いなどの活動も行いました。中学校の活動内容としては授業補助と、ホームページ作成と維持の補助を行いました。この学校ボランティアを通じて勉強になったことが、沢山あると思います。今までのボランティアを振り返ってみる意味で、「学校ボランティア演習Ⅱ」のレポートから、宮下愛梨彩さんの文章を紹介します。

試験終了後の春休みに、再び学校ボランティアが始まります。参加される学生の皆さん、頑張ってください！

教師としての責任

化学科 3年 宮下愛梨彩

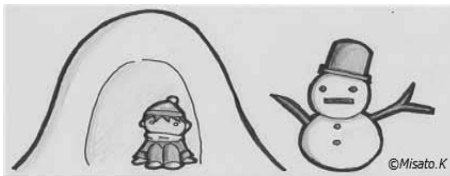
私は前期に引き続き、週に1度土屋小学校にボランティアとして行かせていただきました。主な活動内容は校務作業や授業の補助になります。校務作業では、学校の池で飼っているメダカの移動、児童が書き初めて使う台紙の制作のお手伝いをさせていただきました。また、授業の補助では午前中のボランティアのなかで、3つの学年につくなど、多くの学年の授業を見させていただく機会をもらい、児童とのコミュニケーションをとることも出来ました。

今回のボランティアを通して、私が強く感じたことは2つあります。まず1つ目は、教師が児童をどこまで手助けするかということです。これは校務作業を通して感じたことです。書き初めの台紙づくりは、児童の作品を貼るためのもので全校児童分を先生方がつくっていました。とても本格的なもので両端には竹を使用して掛け軸のようでした。決まった大きさに模造紙を切るという単純作業でしたが、その数の多さに大変さを感じました。私が手伝った時では、ひと学年分しか終わることが出来ませんでした。児童からすると、その台紙はあるのが当たり前のように感じるでしょう。裏で先生方が作っていることに気付く児童は少ないのではないかと思います。ですが、台紙があるとならば児童のやる気も喜びも変わってくると思います。先生方の忙しい中で、手を抜くことなく児童のためと取り組む姿勢に尊敬しました。作業を進める中、通りかかった2年生の担任の先生が、「先生がここまでやる必要はないのではないかと」仰ってました。初めは厳しい言葉だと感じましたが、確かに高学年の児童であれば、自分たちの分は自分で作れるのではないかと思います。

教師が児童のため、よりよい環境をつくるのは当然のことだと思います。しかし、児童の為と言って、全てを用意してしまうのは間違っていると思いました。どこまで教師がしてあげるか、この境目を明確にしなければいけないと思いました。この境目は、教師の方針や学年の違いにより様々だとは思いますが、自分でその境目を意識して行動しなければいけないと思いました。まだその境目を私は見分けることは出来ませんが、授業の補助を行う時は、この境目を意識しながら行動しました。私が、教師になった時この境目を明確化出来るように、今回気付くことができ、大きな収穫だと思います。

そして2つ目は、児童は大学生のボランティアではなく、ひとりの先生として接してくれることです。担任の先生とはまた違った親しみやすさの中で、私に頼ってくれる児童が多くいました。プリントに私が付ける丸は、児童にとって先生が付けてくれる丸と同等のものであるのと感じました。また私のアドバイスや指示にも、なんの疑いもなく受け入れてくれます。しかし、児童が勉強の内容以外で分からない時、例えば、総合の時間で、この後どうしたらいいかなどの質問をされた時、私も分からず答えに困ってしまいました。間違ったことを言っていたらどうしようという不安が、語尾や表情に出てしまい、せっかく私を頼って聞いてくれた児童をより不安にさせてしまったこともありました。

私は、自分はボランティアなのだから分らなくてしょうがないと、少し甘えていた部分もあったと思います。児童が深く関わる大人と言え、両親や教師になると思います。子どもたちは生きていく上で大切なことをこの大人たちから学んでいくと思います。その大切な役割の中に自分も入ることができているのは、信頼があるからこそなんだと思います。一人の先生として扱ってくれることに對してもっと感謝をしなければなりません。先生の言葉や表情に敏感に感じる児童と接するとき、もっと先生としての自覚と責任感をもたなければならないと痛感しました。これからある教育実習では、私を信頼してくださる先生方と同様に、教師としての自覚を持って臨みたいと思います。



おたよりボックス

新コーナー「おたよりボックス」です。

このコーナーでは、神大を卒業して教師をしている先輩達だからこそ聞ける話を紹介したり、皆さんが教員となる上で知って欲しいと思ったことなど、頼りになる便りを紹介します。

今回は、情報科学科4年の神原将樹君から、これから教員採用試験を受験する後輩の皆さんへ、採用試験の感想というメッセージを届けていきたいと思っています。

★ ★ ★ ★ ★

横浜市は1次試験は神奈川県と同様の日程、問題である。しかし、2次試験は9月上旬と最も遅く、1次試験の結果から1カ月以上間隔が空くため、

準備期間は長いですが、モチベーションを保つのに苦労があった。また試験内容は1人での場面指導(RPG)、その場で課題が与えられての模擬授業等、他県とはかなり異質である。ゆえに仲間との励まし合いはもちろん、対策、練習が非常に重要となってくる。また全体を通して、専門的知識や子どもへの理解だけでなく、ある課題、問題に対して1つの対応、方法だけではなく、複数の選択肢、広い視野や視点、対応力を持って取り組めるかを特に重要視しているのではないかと感じた。

Dreams 談話室

「Dreams 談話室」は、教職を履修している学生が意見を伝える、情報を交換出来る場所です。「教育実習や教員採用試験について知りたい!」や「先輩、後輩、先生に伝えたいこと!」など、学生の聞きたいこと、思っていることを中心に企画を立てて、学生の声を紹介します。

今回のテーマ：先輩教師からの熱いメッセージ

10月27・28日に行われた平塚祭で、この湘南ひらつかキャンパスから教職の道へ進んだ先輩方の講演会「集まれ、教師の卵たち! 2012(第4回) —先輩教師からの熱いメッセージ—」が行われました。「教職論」の履修者だけでなく、たくさんの学生の皆さんに、先輩の経験談を聞いて欲しいと思っています。しかし、平塚祭の間で行われるとあって、実行委員などで時間が取れず、行けない学生もいました。なので、今回は、講演会の概要、先輩方のメッセージを、紹介していきます。

☆ ★ ☆ ★ ☆

「生徒の心に残る教師を目指して」

林 美紗教諭(2004年度理学部化学科卒業)

林先生は生徒の心に残る先生とは、「生徒の人生に影響を与えることができる先生である」というお話をしてくれました。また、生徒のことを第一に考えるという信念のもと、いつ誰にどのような言葉をかけるのかといった、時と場合に合った声かけの大切さを伝えてくれました。授業においては、「授業をして満足するのは教師ではない」「生徒が満足しなければ意味がない」といった考えから、生徒のための授業実践についても紹介してくれました。

「中学校教諭という仕事について」

森 洋平教諭(2006年度理学部生物科学科卒業)

森先生は教師の仕事として、①授業 ②学級担任 ③部活動の顧問の3つをあげ、まずはこの3つの仕事をしっかりと取り組むことの重要性を伝えてくれました。また先生は、「子どもを自立させることのできる教師」が理想の教師であるというお話をしてくれました。

学生時代においては、先生や仲間とのコミュニケーションを大切にすることなど、教師を目指す私達に向けて学生時代に取り組むべき大切なことについてもアドバイスしていただきました。

「本校(私立学校)における取り組み～部活動指導の意義～」

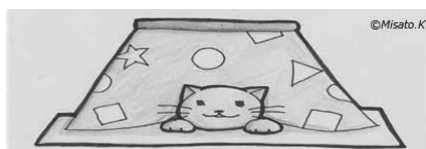
佐藤 慎也教諭(1992年度経営学部国際経営学科卒業)

佐藤先生は、学校での様々な取り組みや部活動指導についてお話してくれました。「部活動は人間教育である」「自己に与えられた役割を果たせるよう頑張る」「自分のためだけではなく、皆のために頑張ろうとするような生き方を身につけていく」「社会に必要な資質を磨く」といった部活動を通した学びの実践や部活動指導の意義について伝えてくれました。

☆ ★ ☆ ★ ☆

どうでしたか?

参加出来なかった方は、これを読んでどんなことを話していたのかわかりましたか? また、参加された方も理解が深まると思います。



ちょっとブレイク

★面接の質問を考えてみよう!

あなたの理想とする教師像について、聞かせて下さい。

Vol.8の答え…ア

編集後記

いかがでしたか?

教員採用試験の感想や、教員として働いている先輩方の講演会の内容など、これから教員を目指す学生の皆さんにとって役に立つ内容であったと思います。一人でも多くの学生が参考にしてくれると嬉しいです。

「湘南ひらつかキャンパス教職課程通信 Dreams」は今月号をもって終わりとなります。今までの「Dreams」を通じて、皆さんだけでなく、私自身もとても勉強になりました。このような貴重な機会を与えて下さった鈴木先生には、とても感謝しています。今後も、この経験を何かに活かせれば、と思っています。

それでは、ここまで読んで頂き、ありがとうございました! またどこかでお会いしましょう!

編集・カット担当 刈部真里(情報科学専攻・M1)

Special Thanks!(お世話になった方々)

宮下愛梨彩さん…「学校ボランティア演習Ⅱ」のレポート提供

神原将樹君…「おたよりボックス」の原稿提供

石倉光博君…「Dreams 談話室」の原稿提供

「Dreams」を読んで下さった方々

発行責任者 鈴木そよ子

連絡先

神奈川大学

湘南ひらつかキャンパス 資格教育課程支援室

電話: 0463-59-4111

FAX: 0463-59-5736

E-mail: kyoushoku-sho@kanagawa-u.ac.jp